

面縄小学校 5年
松澤 美里 さん

未来の伊仙町に期待すること

わたしは、未来の伊仙町が「行ってみたい町ナンバーワン」になっていることを期待する。夏休みに熊本から来た友達が、アカショウビンの鳴き声で目覚め、海に行けば海ガメと出会い、夜には空いっぱい星をながめることができるなど、島でできる体験にとっても感動していた。わたしも、この島に住んでいることがうれしくなった。

この島のよさを広めるために、わたしももっと勉強して、町のみ力を発信したり、どこからでも気軽に来れるよう交通アクセスを充実させたり、「行ってみたい町ナンバーワン」の伊仙町をつくらきたい。



伊仙小学校 5年
樺山 望姫 さん

未来の伊仙町へ期待すること

私は、未来の伊仙は年よりやいろんな人にやさしい町になってほしいです。伊仙町は、高い者が多く不便な事があります。たとえばゴミすて場が遠くて年よりの人はゴミをすてるのが大変です。だからゴミすて場をふやして、としよりやいろいろな人が楽しんですてれるようにしてほしいです。ほかに、夏は熱中症になりやすいので、屋根のついた休憩場所がほしいです。そして伊仙町は子供たちが遊ぶ公園が少ないのでふやしてほしいです。あと年よりの人は小さい字が読みにくい人もいるので、スーパーとかのねだんの書いた字を大きく書く工夫もしてほしいです。あと、図書館で本を読むとき字が小さくて見えない人もいるので、メガネを借りれるようにしてほしいです。このように伊仙町の人のため、こうれい者のためにも工夫して未来の伊仙町を変えていってほしいです。



伊仙小学校 5年
徳山 結心 さん

これからの伊仙町に期待すること

私はこれからの伊仙町に向けてがんばりたいことが2つあります。

1つ目は動物のことで、アマミノクロウサギはロードキルで車にひかれたりしているので、アマミノクロウサギや他の動物たちも生きやすいような場所になったらいいと思います。そのためにできることがあるならがんばりたいと思います。

2つ目は自然のことで、伊仙町にはたくさんきれいな自然がたくさんあるけど、ゴミがおちていることが多くなっています。せっかくきれいな場所があるからポイすてをせずに、おちているごみをひろって伊仙町をきれいにしたいです。そして町の人や観光客の人がのびのびすごせたらいいと思います。

この2つの事がかなうように私もできることを一生けんめいがんばって、未来の伊仙町につなげたいです。



馬根小学校 5年
橋口 結彩 さん

未来の伊仙町に期待すること

わたしは、未来の伊仙町に「島の命が輝く町」であり続けることを期待しています。

わたしたちが暮らす徳之島は、世界自然遺産に登録された、世界にもほこれる自然の豊かさがあります。アマミノクロウサギなど、昔の人々が大切に、共に生きてきた自然を、未来にも残していってほしいと思います。

また、伊仙町の「仙」という文字は「不老不死を修めた人」や「優れた才能を持つ人」という素晴らしい意味があるそうです。

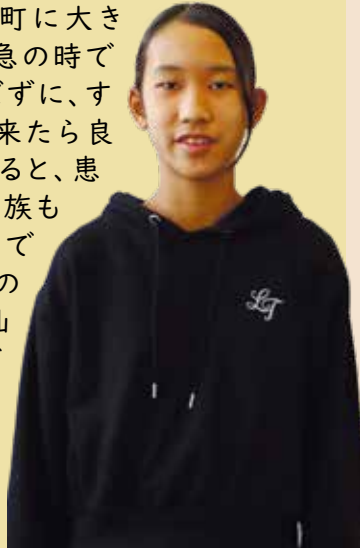
わたしは、伊仙町が子供から高齢者までが、健康で生き生きと、笑顔で暮らせる町であってほしいと思います。そして、人々の優れた才能や魅力に支えられて「島の命が輝く町」であり続けてほしいと期待しています。



伊仙小学校 5年 勇 七菜子さん 長じゅの島 ～徳之島～

私は未来の伊仙町の医療に期待しています。なぜなら、今徳之島では、大きなけがや病気になった時、鹿児島へ行くように言われて時間がかかることがあるからです。島ではそれ以上の治療ができなくて、大きな病院に行かなければいけません。ドクターヘリで運ぶこともあります。

そこで私は、伊仙町に大きな病院が出来て、緊急の時でもドクターヘリで運ばずに、すぐ治療することが出来たら良いと思います。そうすると、患者さんも早く治り、家族も近くで見守ることが出来ます。徳之島の人のケガや病気を、伊仙町の病院とお医者さんが全て見てあげられるような未来になるといいです。



伊仙小学校 5年 幸多 麗さん 将来の伊仙町に期待すること

私がしよう来の伊仙町に期待することは、遊園地やプールなどの遊べる所がふえることです。

理由は、2つあり、1つは遊ぶ所が少ないことです。遊ぶところが少ないので、ずっと同じ公園だとあきてしまいます。だから大きい遊び場があれば種類も多く楽しめると思ったからです。

二つ目は遠いことです。遊園地などに遊びに行こうと思っても遠く、お金もたくさん使ってしまうので、自分達の身近な所にあつたらいいなと思ったからです。

この事から遊び場がふえる事を期待します。



面縄小学校 5年 米田 詩妥さん 将来の伊仙町に期待すること

わたしが生まれた徳之島は、美しい島だ。徳之島だけに存在する生き物もたくさんいる。しかし、そんな生き物が絶滅の危機にさらされたり、海岸にはごみなどが流れついたりするなど、問題となっていることも多い。わたしたちが大人になったとき、徳之島はどうなっているのだろうか。

わたしが未来の伊仙町に期待することは、他町と手を取り合って、島全体で自然を大切に、環境を守ることが出来るような町づくりをすることである。大好きな徳之島を、子どもからお年寄りまで、島中のみんなで作ることが出来る未来にしたい。



面縄小学校 5年 壽山 りあむさん 将来の伊仙町に期待すること

コロナがはやり始めてから、たくさんのがができなくなった。マスクなしで生活すること、少年団の試合、きゅう食時間に楽しく話しながら食べる。がまんすることがふえ、徳之島だけにかぎらず、日本全体が元気をなくしてしまったように感じる。

コロナがなくなるということはもうないかもしれない。でも、以前の伊仙町のように、活気あふれる町づくりはできると思う。わたしたちが大人になったとき、わたしたちの子どもが伊仙町を好きでいられるように、人と人とのつながりを大切に、町づくりに協力できたらいいなと思う。



鹿浦小学校 5 年
壽 あかりさん

将来の伊仙町に期待すること

伊仙町にはあまりにも、お店が少ないと思うので、ショッピングモールや飲食店がたくさんできてほしいなあとと思う。その理由は、徳之島に来る観光客や徳之島に住んでいる人が、伊仙町は、楽しいなあと思ってくれるとうれしいし、ショッピングモールや飲食店があれば、ふだんたくさん買い物する人や買い物が好きな人もよろこぶと思うからだ。飲食店の場合は、おいしいものがたくさん食べられてよろこぶ人がたくさんふえると思うからだ。



面縄小学校 5 年
大倉 勇希さん

将来の伊仙町に期待すること

ぼくが生まれ育った伊仙町は、長じゅの町だ。また、戦後日本復帰に力をつくしてくれた泉ほうろう先生など、歴史に名を残しているい大人の出身地でもある。

ぼくのまわりにも、い大人はたくさんいる。いつもぼくたちを気にかけて見守ってくれている地域のおじいちゃん、おばあちゃん、闘牛などの伝とうやサトウキビさいばいなど農業を支えている人たち。伊仙町の歴史や生活は、たくさんの人に支えられ、世代をこえて受けつがれている。これらを引きつぐのは、ぼくたちの役目だ。教えてもらったことを一つ一つ身につけ、未来の伊仙町を盛り上げたい。



面縄小学校 6 年
酒匂 真凜さん

未来の伊仙町に期待すること

わたしが、これからの伊仙町に期待することは、「農業」です。

わたしは、伊仙町が徳之島で一番農業が盛んだと思います。だから、もっと伊仙の土地で育てることのできる、野菜や果物、植物を増やしてほしいです。

わたしは、伊仙町に引っ越して来たら、食べられる野菜が増えました。わたしの野菜ざらいをなくして、果物を好きにしてくれた伊仙町なら、きっと徳之島のNo.1になれます。そして、伊仙町の人々に、幸せと笑顔をお届けしてくれるはず。さらに、日本中、世界中を、幸せと笑顔で一杯にしてくれることを信じています。



面縄小学校 6 年
吉元 仁那さん

未来の伊仙町に期待すること

わたしは、未来の伊仙町に、海や道路にゴミがなく、ポイ捨てをしない、自然環境を考えると、伊仙町になることを期待する。

現状は、海や通学路に様々なゴミが落ちている。また、大人だけでなく生徒もポイ捨てをしているのを見かけたこともある。世界自然遺産に登録されたり、SDGsの取組が言われたりしている中、このままではゴミのせいでわたしたちの豊かな自然がなくなってしまう。わたし自身も進んでボランティア活動に参加しなければと強く思った。

このように、一人一人が中心になることで、伊仙町全体に自然環境を考える意識が広がってほしい。



伊仙小学校 6年
窪田 もえさん

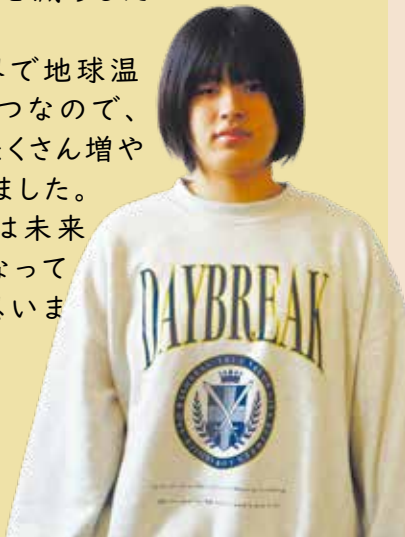
私が目指す伊仙町の未来

私は、未来の伊仙町を、みんなが楽しく気持ちよく過ごせるようにしたいと思いました。そこで、伊仙町をこうしたいと思ったことを2つ考えました。

まず1つ目は、世界自然遺産に登録されたとはいえ、ゴミのポイ捨てが減っていないと思ったので、ポイ捨てを減らしたいと思いました。

二つ目は、世界で地球温暖化が問題の一つなので、伊仙町に植物をたくさん増やしたらいいと思いました。

このように、私は未来の伊仙町がよくなってほしいなと思いました。



伊仙小学校 6年
上田 健斗さん

未来の伊仙町に期待すること

ぼくが、未来の伊仙町に期待することは、自然を大切にする事です。ぼくは、徳之島や伊仙町の自然が大好きだからです。たとえば、学校には、ガジュマルの木があります。ガジュマルの木は、体育のときの日よけになったり、本を読む場所になったりしています。また、海がとてもきれいです。ぼくは海で泳ぎます。とても青くて、すばらしいです。

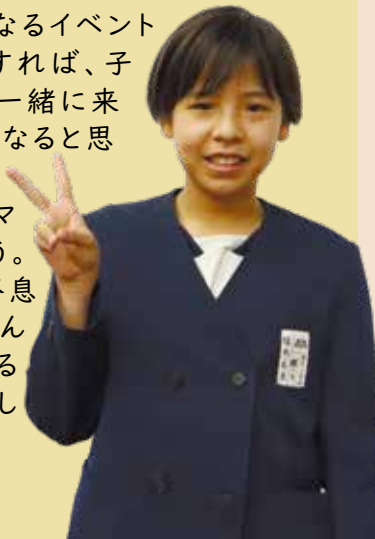
ぼくは、このすばらしい自然をずっとこのこしてほしいです。それだけではなく、たくさんの人にってもらうために、観光地として整備してほしいです。自分が大人になっても伊仙町の自然が残せるように努力したいです。



喜念小学校 6年
福永 未来さん

未来の伊仙町に期待すること

私が伊仙町の未来に期待することは、みんなの笑顔がたくさん見られるような町になることだ。そのために、大きな公園がほしい。長いすべり台があったり、じゃ口からパッションフルーツのジュースが出たりする公園だ。海も近くにある、プールでも遊べる。そしてそこで、伊仙町の小学生がたくさん集まって、みんなが仲良くなるイベントをしてほしい。そうすれば、子供達も笑顔になり、一緒に来ている大人も笑顔になると思う。今はマスク生活で、みんなの笑顔がマスクでかくれてしまう。でも、コロナも早く終息して、この公園でみんなの笑顔が見られるような未来が来てほしいと思う。



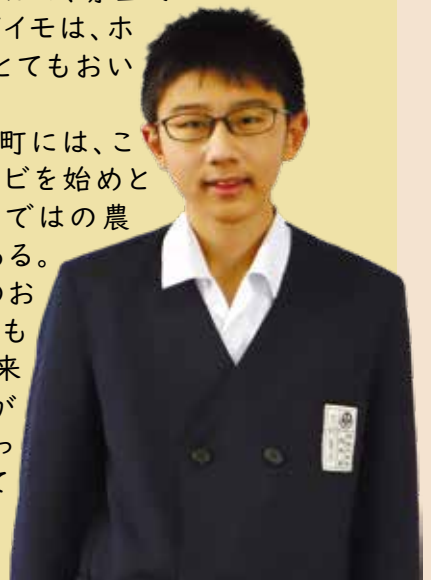
伊仙小学校 6年
下村 蒼平さん

農業が盛んな未来の伊仙町

ぼくは、未来の伊仙町の農業に期待している。未来の伊仙町は、今よりもっと農業が盛んになっているのではないかなと思う。

ぼくが伊仙町に来て、初めて島バナナを食べた時、その甘さとおいしさにびっくりした。また、徳之島ならではの、赤土で育てられたジャガイモは、ホクホクしていて、とてもおいしかった。

徳之島や伊仙町には、この他にもサトウキビを始めとした、南の島ならではの農産物がたくさんある。これらの食べ物のおいしさが、今よりもっと広がり、未来の伊仙町の農業がさらに盛んになっていると期待している。



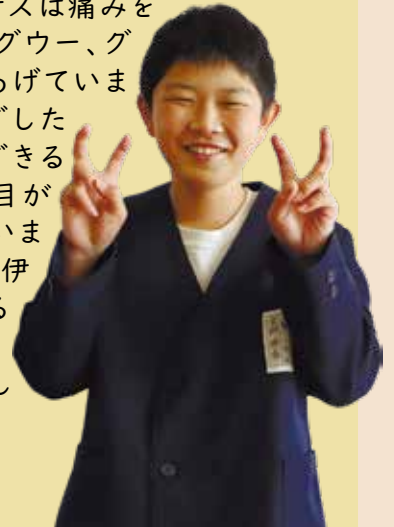
犬田布小学校6年 西川 彪斗さん **僕が目指す伊仙町の未来**

ぼくが目指す伊仙町の未来は、「差別のない伊仙町」です。前に女の子だからサッカーはできないとか、男の子がピンク色が好きとかありえないという話を聞いたことがあります。ぼくは、これは男女差別だと思っています。世界には、いろいろな人がいます。そして、みんな生きてきた個性を持っています。だから、みんなが伊仙町で自分らしく明るく生きていくためにも、へん見や差別は、絶対にあってはいけないと思います。男女差別がなくなって、みんながそれぞれの個性をみとめ合えば、いやな思いをする人や生きづらいと思う人はいなくなります。町民全ての人たちが幸せにすごせる伊仙町にしたいです。



糸木名小学校6年 倉野 瑞希さん **未来の伊仙町**

ぼくは、伊仙町に動物病院があってほしいです。僕たち家族は、「ナズ」という名前の犬を飼っています。ナズは活発で元気でしたが、夏の暑い日に夏バテをして元気がなくなったことがありました。その時、ナズの目に異変が起きていたようで、つめで目の辺りをかくようになりました。目薬をうっても治る気配はなく、目の中が白くなり、ナズは痛みをうったえるように、「グー、グー」とうなり声をあげていました。手術が必要でしたが、島には手術ができる病院がなく、ナズの目が見えなくなってしまいました。なのでぼくは、伊仙町に手術ができる動物病院ができて、動物を守れるようにしてほしいです。



面縄中学校1年 田代 成惺さん **赤土流出を防ぐには**

僕が住んでいる徳之島は、2021年7月26日に奄美大島・沖縄北部及び西表島と共に、国際連合教育科学文化機関ユネスコが行っている世界自然遺産に登録されました。アマミノクロウサギやオキナワウラジロガシなどの貴重な動植物がいる徳之島が、ユネスコに評価され、登録に至りました。

しかし、近年ある問題が起こっています。それは赤土流出です。畑などの開発で、大雨の時に川を通じて、赤土が流れ込み、サンゴが死滅してしまいます。このことを防ぐために、対策を考えました。それは、砂利などで流出を防ぐことです。この方法は、沖縄県でも実施されており、効果が期待できます。

このように、きれいな徳之島の海を守っていくためには、少しでも赤土流出を防ぐことが重要だと思います。流出を防いで、サンゴなどを守り、きれいな海にしたいです。



面縄中学校1年 窪田 洸琉さん **未来の伊仙町に期待すること**

僕が未来の伊仙町に期待することは、きれいな町で、人づきあいもよく、事故なども起きない安全な町になってほしいです。

そのような町にするためには、まずクリーン作戦を積極的に行うことによって、きれいですっきりした町になると思います。

また、安全で事故がない町にするためには、まず通学路にある草むらなど危険性がある場所の確認や、ハブなど危険生物が潜んでいそうなところは、ビーバーなどで草を刈ったりして、より危険なところをなくしていったら、みんなが住みやすいような町になると思います。

これからも伊仙町民としてできることは、積極的に行いたいです。



伊仙中学校 1 年
仲野 愛菜さん

未来の伊仙町に期待すること

私は、伊仙町いや、この徳之島が大好きです。朝、学校に登校しているとき「おはよう」と声をかけてくれる地域の人、自然いっぱい、空気が心地よい、思いやりのある優しい人、本当に毎日が充実しています。

しかし、自然いっぱいの徳之島伊仙町には公園や、町、海にゴミがたくさん落ちています。世界自然遺産に登録された島なのに、ゴミがたくさん落ちていることは、良くないことじゃないかと私は思います。

私は、この自然いっぱいの徳之島伊仙町に期待することは、ゴミを減らして、この自然をたやすことなく残していくことです。そのためには、ゴミをみつけたら拾ったり、レジ袋をマイバックに変えたり、ゴミ箱を配置する必要があると思います。



面縄中学校 1 年
作岡 ももあさん

未来の伊仙町に期待すること

伊仙町の良いところは、すぐに人と親しくなれるところや自然が沢山あることだと思います。

そんな伊仙町の課題はゴミの増加です。ゴミをポイ捨てすると海や川などに流れてしまい、生き物たちに害を与えてしまいます。

そのためには、まずゴミは自分で持ち帰ることが大切だと思います。それにボランティア活動などをして、未来の伊仙町の人々や動物・植物などがよりよく過ごせるように、今みんなが動かなければいけないと思います。そうすることで絶滅危惧種とされている生き物や減っていく魚も住みやすくなります。また島外の人からもいいと思ってもらえると思います。みんなで一致団結して未来のために島を守っていきましょう。

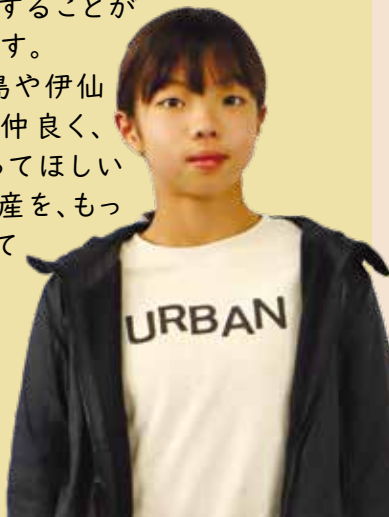


犬田布中学校 1 年
大石 柚那さん

動物との共存へ

私は未来の伊仙町に動物との共存を目指してほしいと思います。徳之島が自然遺産に登録され、絶滅危惧種や、天然記念物などを守ろうという運動が現在多くあります。人間のせいでうばわれている森や海が原因で減っている動物を、増やしていかなければならないと思います。そのためには、ロードキルを減らしたり、森を増やしたりすることが必要だと感じられます。

私は将来、徳之島や伊仙町の人々と動物が仲良く、暮らせるようになってほしいです。そして自然遺産を、もっとよりよいものにしていきたいです。



面縄中学校 1 年
福山 華蓮さん

未来の伊仙町に期待すること

私が、未来の伊仙町に期待する事は、ごみの減少です。理由は、伊仙町には歩道や草むらなどにごみが落ちていることがあるからです。そして、ごみのせいで被害にあっている生き物が沢山います。ポイ捨てされたごみが風で飛ばされて、海や森を汚しています。そのせいで、住みかが無くなった、ごみをえさと間違えて食べてしまった生き物が沢山います。他にも、体にごみが引っかかって亡くなった生き物もいます。

私は、そんな生き物を守るために、地域のボランティア活動に参加したり、ポイ捨てをしたりしないという、自分に出来る事をしていきたいです。そうして生き物が人間の手によって亡くならない、幸せになる町にしていきたいです。



面縄中学校 1 年 未来の伊仙町に期待すること
石原 龍翔さん

僕が未来の伊仙町に期待することは、今減少している闘牛の牛や飼い主を増やしていくことです。最近、昔から長年受け継がれている闘牛が減少していることが残念です。

闘牛の魅力は、迫力ある闘いです。牛が勝った時の会場の盛り上がりは、いつ見ても興奮します。徳之島の伝統である闘牛をこれからも盛り上げていくために、牛や飼い主が増加してほしいです。

私も牛を飼っているので、将来、伊仙町が盛り上がるように、大切に牛を育てていきたいです。あとはポイ捨てのないきれいな伊仙町です。



犬田布中学校 1 年 未来の伊仙町に期待すること
河島 莉子さん

去年から徳之島の天城の一部が世界自然遺産に登録されました。それで私は、登録された理由について考えました。それはポイ捨てなどが少ないからと考えました。

私は徳之島が大好きです。その中でも特に伊仙町が大好きで、緑の多いところが大好きです。それで自分ではポイ捨てをしないように意識したり、ゴミがあったらできるだけ捨てるようにしています。それで私は伊仙町全体のみんながポイ捨てしないようにしたいと思いました。

私はこれから伊仙町に来てくれる人たちが、ポイ捨てをしないように、ポスターをつくって、観光客の人に伊仙町の魅力が伝わるようにしたいです。そして色々な所から観光客が来てほしいです。私が伊仙町に期待することはポイ捨てのないきれいな伊仙町です。

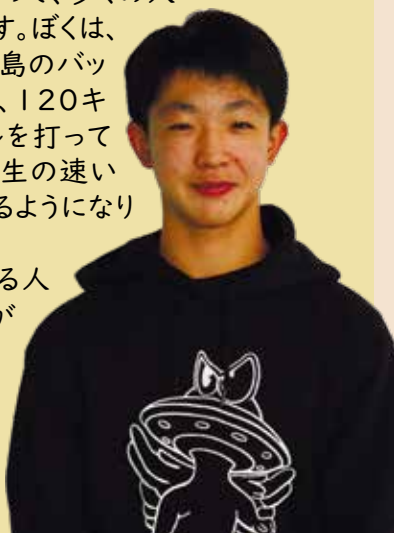


犬田布中学校 1 年 未来の伊仙町に期待すること
北澤 勘太さん

ぼくが未来の伊仙町に期待することは、バッティングセンターを建てることです。ぼくは野球が大好きなので、他の人にも興味をもってほしいからです。

徳之島では野球をやっている人がたくさんいるので、伊仙町にもぎわうと思います。もしとてももうかったら、コロナウィルスの支えん金や、ウクライナ戦争の支えん金となって、多くの人の役に立つと思います。ぼくは、中学生になって鹿児島県のバッティングセンターで、120キロなどの速いボールを打っていたおかげで、中学生の速いボールにも対応できるようになりました。

これから野球をする人や、夢をもつ人などが野球を楽しむために、バッティングセンターをつくってほしいと思います。



犬田布中学校 1 年 未来の伊仙町に期待すること
副島 あんりさん

私が「未来の伊仙町に期待すること」は、雨の日でも室内で遊べる場所をつくってほしいという事です。

なぜなら、私は、3才と4才の弟がいて、晴れた休みの日はドライブや、公園で遊んでいます。雨の日はドライブに行っても、気分が上がらなくて、公園もぬれていて遊べないからです。家の中では、大切な資料や機械類が多いので、手がかかってしまいます。その時に、雨の日でも室内で遊べる場所がほしいです。

だから私は、伊仙町に雨の日でも遊べる場所をつくってほしいです。



犬田布中学校 2年 当山 結菜さん 未来の伊仙町に期待すること

私は、伊仙町の子どもたちがのびのびと遊べる場所を作ったらいと思います。なぜなら、草がおいしげっていない所や広場みたいなところが、遠くにあって、遊びにいけないからです。

そのために、チラシや広告で遊べる場所を宣伝したり、少しでも遊具などを作ることで子どもが集まり、子ども同士の仲も深まると思います。また、行きやすい所に公園を作ったり、休けい場所を作ったりすると、子どもがのびのびと遊ぶことができると思います。

そうして、子どもがたくさん集まってのびのび休みの日もすごせて、子どもにとっても大人にとっても充実した一日をすごせると思います。



面縄中学校 1年 米 貫太さん 未来の伊仙町に期待すること

僕は伊仙町の魅力を知っている。その魅力とは長生きする人が多いことだ。日本一長生きした泉重千代さんも伊仙町に住んでいた。一方で伊仙町は少子高齢化が進んでいる。僕は少子高齢化がどうして進んでいるのかを考えてみた。僕は島を出る人が増えたから少子高齢化が進んでいるのではないかと考えた。

僕は少子高齢化を防ぐために対策を考えた。それは、伊仙町に働けるところを増やすということだ。そうすると島を出る人も少なくなるかと思うからだ。僕はこれが実現されたらいいなと思う。



面縄中学校 2年 嶋田 雄心さん 未来の伊仙町に期待すること

僕が、未来の伊仙町に期待することは、世界に認められる伊仙町です。

今日は、なくさみ館、百菜、コーヒー農園、長寿子宝社に行きました。今日この四つの場所に行って思ったことは、初めて来た人や子供でも楽しめるようにしていたことです。

なくさみ館にある闘牛資料館では、闘牛の歴史や牛の角の種類など、初めて来た人でも多角的に学ぶことができます。コーヒー農園では、子供でも飲みやすいようにミルクティーを作ってくれていました。他にもいろいろなコーヒーを作るために研究しているそうなので、島外から来た人も飲んでほしいと思います。今日行った場所は、たくさんの工夫をしていたので、世界に認められる伊仙町になっていくことを期待します。



犬田布中学校 2年 實 愛佳さん 未来の伊仙町に期待すること

私は、この伊仙町でもっと子ども達が、自然にふれ合いながら過ごしてほしいと思い「自然を守る」「自然をこれからも大切にする」ということを期待しています。この、コロナ禍が進んでいるなか、子どもたちは外出して活発に動くことも少なくなっているからこそ、伊仙町で自然の大切さを学ぶことはとてもいい勉強だと思います。



面縄中学校 2年
森 王世さん

未来の伊仙町に期待すること

ぼくが、未来の伊仙町に期待することは、今ある文化、自然、食べものとかをもっと全国の人に知ってもらって、それをさらに、自分たちで受けついでいったらいいと思います。

例えば、徳之島で有名な闘牛とか、奄美大島と徳之島にしかない、アマミノクロウサギとかキレイな海を知ってもらうことで、全国の人とかが集まって来たりすると、もっと伊仙町が活性化していくと思います。

今後こういう活動をするには、まずゴミを捨てない、海をキレイにするなどがあります。一人一人がしっかりと心がけていけばいいと思います。



面縄中学校 2年
長尾 涼さん

未来の伊仙町に期待すること

僕が伊仙町の強みと思うことは、特産品、歴史、文化の3つだと思います。

そこで今日、4つの場所に行かせてもらいました。まず、なくさみ館では、古くからの歴史をつなぎ、今では文化になっています。百菜では、地産地消を目指して商売をしていました。コーヒー園では、島で豆を栽培していて、実際に飲んでみると、最初は苦くてよもぎみたいな味から、後から甘みがきて、おいしかったです。長寿子宝社では、町民のために、小中学校の送り迎えや、子供から大人までお迎えしてくれて、支えあっているなと思いました。



面縄中学校 3年
清水 雅さん

未来の伊仙町に期待すること

私が未来の伊仙町へ期待することは、SDGsに対しての取り組みを増やすことです。SDGsとは持続可能な開発を達成させるための17個の大きな目標と169個の小さな目標のことです。17個の目標には貧困や飢餓、健康、教育、人権などの問題を解決するための内容が取り上げられています。小さな目標はそれらを達成するために細かく取り上げられたものです。徳之島という小さい島の小さい町である伊仙町ですが、SDGsに対して出来る取り組みは沢山あると思います。だから、私は未来の伊仙町にSDGsへの取組を充実させることを期待します。



面縄中学校 2年
作岡 愛瑠さん

未来の伊仙町に期待すること

ぼくが未来の伊仙町に期待することは、闘牛と、コーヒーです。なぜかという、闘牛では古い歴史があって多くの人が知っているし、初めての人でも楽しむことができると思ったからです。毎年闘牛を見に多くの人が島に来ると思います。そうすると、この島で買い物をする徳之島にもよいし、観光客にもよいと思ったからです。コーヒーも同じように、多くの客がコーヒーを買うと島の経済がうまくまわると思います。そうするといろいろな物をつくれたり、また観光客が来るんじゃないかなと思いました。最近、島を出ていく人が増えていっています。だから、島の人口も少なくなりつつあります。その問題を早く解決しないといけないので、これを機に、島から出た人が帰ってくるとよいと思います。



面縄中学校 3年 久保 美稀さん 未来の伊仙町に期待すること

私が未来の伊仙町に期待することは、性的マイノリティへの理解を深めることです。同性愛者など性的少数者がどこにいてもおかしくない今だからこそ、ちゃんとした情報を伝えていかなければいけないと思います。なので、伊仙町は授業の一環として、小中学生に学ばせるのもいいと思います。もしかすると、大人が誤った情報を鵜呑みにしていてもおかしくはないので、大人にとってもいい勉強になるのではないのでしょうか。

私は、伊仙町で性的マイノリティの理解が深まっていくといいなと思います。



犬田布中学校 3年 河島 悠奈さん 未来の伊仙町に期待すること

私は、未来の伊仙町に期待しています。私が住んでいる伊仙町は、自然が豊かでとてもいいところだと思っています。周りの友達は「もっと大きい店をつくれればいいのだ」と言います。ですが、私はそうは思いません。みんな、本来の美しさ、大切さに気づいていないだけだと思います。現在、この美しい自然を活かすことができていません。未来の伊仙町では、ごみを減らし、この美しい自然を世界に発信していける、と期待しています。



面縄中学校 3年 赤崎 歌南さん 未来の伊仙町に期待すること

私は未来の伊仙町はゴミが無く草むらもきれいに整えられているといいなと思います。月に1回くらいクリーン作戦がありますが、周りには参加していない人もいますのでもっと多くの人に参加してほしいです。そうすることでもっと伊仙町がきれいになると思います。クリーン作戦だけでなく、見つけたらゴミを拾うようにしたり、草を抜いたりすると日頃からきれいな町になると思います。そのためにもっと自然の大切さや伊仙町の良さ、そしてゴミ問題の現状についてアピールするといい町になっていくんじゃないかな、と思いました。



面縄中学校 3年 仲島 朱莉さん 未来の伊仙町に期待すること

私が未来の伊仙町に期待することは、学校の髪型に関する校則を見直し、多様性が尊重されるような町になることです。

今の校則では自由がありません。人は見た目でその人がどういう人か判断されるので、多少の規則は必要だと思います。しかし、今のご時世、性別や個性など一人一人、違います。それを否定するのではなく、その人が自分らしく生きれるようサポートすることが、よりよい未来につながると思っています。

私は全員が多様性を尊重し、自由に生きられるように、学校の髪型に関する校則の見直しを期待します。



面縄中学校 1 年
永田 大旺さん

未来の伊仙町に期待すること

伊仙町のいいところは、闘牛です。なぜなら闘牛は400年も前から行われて伝統があるからです。

しかし、長く続いている闘牛も昔に比べると、なり手が少なくなってきました。誇りある徳之島闘牛を残していくために自分のできることを考えました。

ぼくは、牛についてもっと学ぶために鹿児島農業大学校に行って家畜人工受精師になりたいと思っています。少しでも多く牛のことを分かって、徳之島闘牛を残して行きたいです。そして自分も牛を持っているので、早くデビューさせたいです。



面縄中学校 1 年
大倉 昂希さん

未来の伊仙町に期待すること

僕たちが住んでいる伊仙町のいいところは地域の人たちが明るい所です。また、徳之島、伊仙町には、いろいろな動物がいます。

徳之島といえば闘牛です。闘牛は徳之島唯一の娯楽です。僕も闘牛を飼っています。その牛は僕たちが高いお金で買いました。僕たちの牛小屋に来て5連勝です。僕は、その牛に王者を取って欲しいので一日一日牛に愛情を込めてブラッシングをして、牛にも信じてもらいたいです。

伊仙町の良いところをもっと増やして観光客のみなさんにも闘牛を楽しんでもらいたいです。



伊仙町町制施行 60 周年記念誌作成委員会の協議の中で、「大人だけでなく子供たちの姿が見える記念誌づくり」を一つのコンセプトとして載せる方向が決まり、夏休み期間中、町内小中学生に対する絵画と作文、16 歳から 25 歳の若者から「未来の伊仙町への期待すること」と題して論文を募集しました。

ここでは論文部門の最優秀賞 2 名の作品と、小中学生 223 名の応募の中から、選ばれた作文をご紹介します。